

豊見城市流域関連公共下水道事業(変更)計画書

流域関連公共下水道管理者 豊見城市長 徳元 次人
工事着手の年月日 昭和57年 3月18日

令和 5年 3月 31日
工事完成の予定年月日 令和 10年 3月 31日

(第1表)ー1

予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書			
処理区域の面積	約 815.5 833.7	ハクタール	処理区域内の地名
処理区	面積 (ha)	流域下水道との接続箇所の番号	接続する流下 水道の幹線名
那覇処理区	815.5 833.7	H-2	那覇市 古波蔵4丁目 南風原幹線
			摘要
			計画下水量(日最大) 22,413 23,732m ³ /日 予定水質(流入水質) BOD=210mg/l S S=220mg/l

(第1表)ー2

予定排水区域及び放流箇所調書			
排水区域の面積	815.5 833.7ha	排水区域内の地名	放流先の名称
排水区	面積 (単位:ha)	放流箇所の番号	放流箇所の位置
豊見城排水区	413.5	吐1～吐8	豊見城市字真玉橋 国場川
上田排水区	194.6 211.3	吐9,18,19,20 吐9,12,20	豊見城市字与根 東支那海
与根排水区	47.4 48.9	吐13,14,15	豊見城市字与根及び翁長 東支那海
豊崎排水区	160.0	—	— 東支那海

(第2表)

計画降雨調書			
排水区の名称	計画降雨		摘要
	一時間当たりの降雨量 (単位 ミリメートル)	確率年	
豊見城排水区	88.0	1/10	
上田排水区	88.0	1/10	
与根排水区	88.0	1/10	
豊崎排水区	88.0	1/10	

(第3表)

吐口調書								
排水区の名称	主要な吐口の種類	主要な吐口の番号又は名称	主要な吐口の位置	計画放流量 (m ³ /秒)	放流先の名称	放流先の水位(EL.+)	摘要	
豊見城排水区	分流式雨水管渠	吐1	豊見城市字真玉橋	13.853	国場川	1.10	嘉数雨水幹線	
	"	吐2	豊見城市字高安	17.101	饒波川	1.44	根差部第一雨水幹線	
	"	吐3	豊見城市字高安	2.470	饒波川	4.70	高安雨水幹線	
	"	吐4	豊見城市字豊見城	8.343	国場川	1.00	豊見城雨水幹線	
	"	吐5	豊見城市字高安	2.412	饒波川	4.90	饒波雨水幹線	
	"	吐6	豊見城市字高安	14.880	饒波川	4.90	平良第一雨水幹線	
	"	吐7	豊見城市字高安	4.483	饒波川	6.20	饒波第一雨水幹線	
	"	吐8	豊見城市字高安	5.419	饒波川	6.20	饒波第二雨水幹線	
	"	吐9	豊見城市字与根	58.697	東支那海	0.90	下原雨水幹線	
	"	吐12	豊見城市字伊良波	11.106	伊良波排水路	0.90	伊良波雨水幹線	
	上田排水区	"	吐18	豊見城市字上田	9.603	伊良波排水路	-	
		"	吐19	豊見城市字上田	3.751	伊良波排水路	-	
		"	吐20	豊見城市字我那覇	5.525 28.423	伊良波排水路	4.07	我那覇雨水幹線 上田第一雨水幹線
	与根排水区	"	吐13	豊見城市字与根	8.076	第一遊水地	0.90	与根第一雨水幹線
		"	吐14	豊見城市字与根	5.386	第二遊水地	0.90	座安第一雨水幹線
"		吐15	豊見城市字与根	8.043	東支那海	0.90	座安第二雨水幹線	

(第4表)ー1

管渠調査(汚水)				
処理分区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘要
豊見城処理分区	○100 ~ ○900	20,540 20,330	7箇所	方法:マンホール内からの管内目視若しくは管口テレビ カメラを用いる方法 頻度:5年に1回以上
合計		20,540 20,330	7箇所	

(第4表)一2

管渠調査書(雨水)				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
豊見城排水区	□ 1,100 × 1,100	40		
	□ 1,200 × 1,200	420		
	□ 1,200 × 1,500	30		
	□ 1,300 × 1,300	410		
	□ 1,300 × 1,600	150		
	□ 1,300 × 1,700	10		
	□ 1,400 × 1,400	110		
	□ 1,500 × 1,700	280		
	□ 1,600 × 1,600	270		
	□ 1,800 × 1,300	150		
	□ 1,800 × 1,500	120		
	□ 2,000 × 1,800	80		
	□ 2,300 × 1,300	190		
	□ 2,700 × 1,300	390		
	▽ 1,700	220		
	▽ 1,760	260		
	▽ 1,100 × 1,100	130		
	▽ 2,080	50		
	▽ 1,300 × 1,300	10		
	▽ 2,400	400		
▽ 1,000 × 2,300	2,400			
▽ 1,100 × 2,300	2,700			
▽ 1,500 × 1,500	3,200			
▽ 2,000 × 1,600	2,000 × 1,600	100		

管渠調査書(雨水)				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミメートル)	延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘要
豊見城排水区	㍿ 4,400	90		
	㍿ 1,800 × 2,600			
	㍿ 4,700	20		
	㍿ 2,300 × 3,500			
	㍿ 5,000	40		
	㍿ 2,000 × 3,000			
	㍿ 5,000	40		
	㍿ 2,700 × 2,300			
	㍿ 5,000	90		
	㍿ 3,000 × 2,000			
	㍿ 5,000	10		
	㍿ 3,100 × 1,900			
	㍿ 5,100	20		
	㍿ 3,300 × 1,800			
	㍿ 5,800	10		
	㍿ 2,600 × 3,200			
	㍿ 6,200	10		
	㍿ 2,600 × 3,600			
	㍿ 9,00 × 900	100		
	㍿ 1,000 × 1,000	410		
㍿ 1,000 × 1,400	90			
㍿ 1,100 × 1,100	350			
㍿ 1,300 × 1,700	10			
㍿ 1,500 × 1,000	40			
㍿ 1,500 × 1,200	10			
㍿ 1,750 × 1,650	210			
㍿ 1,750 × 2,000	60			
㍿ 1,750 × 2,250	160			
㍿ 1,800 × 1,500	90			
㍿ 2,000 × 1,700	50			

管渠調査書(雨水)				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
豊見城排水区	□ 2,000 × 2,000	260		
	□ 2,500 × 2,200	90		
	□ 2,500 × 2,400	230		
	□ 2,500 × 2,700	80		
	□ 2,500 × 2,750	520		
	□ 2,500 × 3,180	80		
	□ 2,500 × 4,770	50		
	□ 3,000 × 1,500	30		
	□ 3,050 × 2,500	10		
	□ 3,500 × 1,900	130		
	DO 1,000	160		
	▽ 1,700			
	▽ 1,000 × 1,200	220		
	▽ 1,760			
	▽ 1,100 × 1,100	260		
	▽ 2,080			
	▽ 1,300 × 1,300	130		
	○ 900	190		
	○ 1,000	140		
	○ 1,100	90		
○ 1,350	200			
○ 1,500	140			
小 計		8,740		

管渠調査(雨水)				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘要
上田排水区	□ 1,100 × 800	50		
	□ 1,300 × 3,300	50		
	□ 1,720 × 1,800	80		
	□ 1,800 × 2,800	30		
	□ 2,200 × 2,200	30		
	□ 2,600 × 1,850	30		
	□ 3,200 × 2,600	60		
	□ 3,900 × 3,500	120		
	□ 5,800 × 2,000	-		
	▽ 2,150	260		
	▽ 1,100 × 1,800	200		
	▽ 2,150	320		
	▽ 1,300 × 1,400			
	▽ 2,200	90		
	▽ 1,100 × 1,800			
	▽ 2,600			
	▽ 1,800 × 1,380	430		
	▽ 2,700			
▽ 1,800 × 1,100	40			
▽ 3,000				
▽ 2,200 × 1,400	350			
▽ 3,300				
▽ 2,000 × 2,000	90			
▽ 3,500				
▽ 1,800 × 3,300	50			

管渠調査(雨水)				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
上田排水区	W 6,380 5,300 × 1,800	180		
	W 7,280 6,200 × 1,800	110		
	W 8,800 7,800 × 1,800	720		
	□ 900 × 900	130		
	□ 1,500 × 1,500	140		
	□ 1,500 × 1,800	30		
	□ 1,500 × 2,000	10		
	□ 1,750 × 2,000	10		
	□ 1,800 × 1,200	- 30		
	□ 1,800 × 1,500	150		
	□ 1,800 × 1,900	- 320		
	□ 2,000 × 1,850	10		
	□ 2,000 × 2,000	110		
	□ 2,000 × 2,200	20		
	□ 2,300 × 2,000	20		
	□ 2,500 × 2,000	- 230		
□ 2,600 × 2,200	20			

管渠調査書(雨水)				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘要
上田排水区	□ 3,000 × 1,500	20		
	□ -	-		
	□ 3,300 × 2,000	260		
	□ -	-		
	□ 4,500 × 2,500	140		
	□ 6,380 × 2,500	20		
	⊙ 1,000	10		
	⊙ 1,200	10		
	⊙ 1200 × 2	10		
	⊙ 1,500	20		
	⊙ 2,000	60		
	小計	3,830 5,070		

管渠調査(雨水)				
排水区の名称	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミメートル)	延 長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘 要
与根排水区	□ 1,600 × 1,500	80		
	□ 1,800 × 1,400	230		
	□ 2,000 × 1,500	250		
	□ 2,100 × 1,500	110		
	□ 2,300 × 1,600	100		
	□ 2,500 × 1,500	270		
	□ 3,300 × 2,100	310		
	▽ 2,600			
	▽ 2,200 × 1,500	130		
	▽ 2,760			
	▽ 1,500 × 1,750	150		
	▽ 2,800			
	▽ 2,200 × 1,650	150		
	▽ 2,800			
	▽ 2,200 × 1,800	150		
□ 1,500 × 1,500	20			
□ 1,800 × 1,400	10			
□ 2,000 × 1,500	10			

管渠調査書(雨水)				
排水区の名	主要な管渠の 内のり寸法 (単位:ミリメートル)	延長 (単位:メートル)	点検箇所の数	摘要
与根排水区	□ 2,000 × 1,700	10		
	□ 2,000 × 2,500	60		
	□ 2,200 × 1,500	10		
	□ 2,200 × 1,600	10		
	□ 2,500 × 1,500	30		
	□ 2,500 × 1,600	10		
	□ 2,500 × 1,800	20		
	□ 3,300 × 1,750	10		
	□ 3,400 × 1,800	20		
	小計	2,150		
合計		14,720		
		15,960		

(第6表)

ポンプ施設調書						
ポンプ施設の名称	処理分区の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位:㎡)	1分間の揚水量 (単位:立方メートル)		摘要
				晴天時最大	雨天時最大	
伊良波汚水中継ポンプ場	豊見城処理分区	豊見城市字伊良波浜原	14.7	11.39 11.80		
渡橋名汚水中継ポンプ場	豊見城処理分区	豊見城市字渡橋名浜原	11.1	4.23 5.50		
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘要	
伊良波汚水中継ポンプ場	汚水ポンプ	2台	横軸汚水ポンプ	3.5m ³ /分/台 3.6m ³ /分/台	2/2 既設	
		2台	横軸汚水ポンプ	7.0m ³ /分/台 7.2m ³ /分/台	2/2 内1台予備	
渡橋名汚水中継ポンプ場	ポンプ室	1棟	鉄筋コンクリート造			
	汚水ポンプ	3台	横軸汚水ポンプ	2.7m ³ /分/台 2.8m ³ /分/台	3/3 内1台予備	
	ポンプ室	1棟	鉄筋コンクリート造			

(様式1)施設の設置に関する方針

主要な施策	整備水準				事業の重点化・効率化の方針	中期目標を達成するための主要な事業	備考
	指標等	現在 (令和3年度末)	中期目標 (令和9年度末)	長期目標			
汚水処理	下水道 処理人口普及率	79.3%	82.9%	93.3%	令和3年度に見直した汚水処理施設整備構想の目標に基づき、人口密度が高い地域・整備効率の高い地域を優先的に整備する。	名嘉地区区管渠整備 我那覇地区区管渠整備 上田地区区管渠整備	
	都市浸水対策達成率	74.8% (440.6ha)	80.0% (471.4%)	100% (589.3ha)	下水道の整備に加え、内水ハザードマップの策定や浸水に関する情報提供等のソフト対策により、未整備地区についても計画降雨に対する被害の最小化を目指す。 浸水実績に基づき、被害リスクの高い箇所から優先的に整備する。	上田地区雨水幹線整備 下原雨水幹線整備	
耐水化	対象施設なし						
耐震化	災害時における機能確保率	3.4%	11.5%	100%	重要な幹線・施設等について、耐震化、2条化を図り、災害時の施設機能の確保や減災機能を確保する。	豊崎地区マンホールポンプ非常用自家発電設備の整備 高安汚水幹線耐震化計画	
	ポンプ場	100%	—	—	—		
高度処理	対象施設なし	—	—	—			
合流式 下水道の改善	対象施設なし	—	—	—			
汚泥の再生利用	対象施設なし	—	—	—			
その他の 処理水の有効利用	対象施設なし	—	—	—			

(様式2)施設の機能の維持に関する方針

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の計画
管渠施設	施設の重要度に応じて、概ね5年～10年に一度点検を実施。点検の結果、異常の可能性がある箇所についてテレビカメラ等による調査を実施。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	設置後、1回／5～10年の頻度で分解調査を実施。
水処理施設 (送風機本体)	対象施設なし
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	対象施設なし

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	緊急度がⅠのものを改築、緊急度Ⅱを修繕又は改築を検討して実施。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度2以下で改築を実施。
水処理施設 (送風機本体)	対象施設なし
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	対象施設なし

iii) 改築事業の概要(令和5年度～令和9年度)

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	管渠延長L≒0.2km, マンホール蓋N=166箇所
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	渡橋名汚水中継ポンプ場：汚水ポンプ(揚水量:約2.8m ³ /分×1台)
水処理施設 (送風機本体)	対象施設なし
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	対象施設なし

b) 施設の長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当りの概ねの事業規模の試算)	試算の対象時期	試算の前提条件
年当り概ね2.2億円	概ね100年後	健全度の低下した路線を改築

(様式3) 一1 財政計画書

(単位:千円)

年次	1. 経費の部										合計
	建設改良費					起債元利 償還費	維持 管理費	その他	合計		
	管渠	ポンプ場	流域建設負担金	計	うち用地費						
昭和56年度～ 令和4年度	23,602,163	1,984,569	1,492,914	27,079,646	468,678	9,237,971	6,889,814	-	43,207,431		
令和5年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
令和6年度	797,000	30,000	43,000	870,000	-	449,987	322,067	-	1,642,054		
令和7年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
令和8年度	868,600	50,000	43,000	961,600	-	444,111	333,225	-	1,738,936		
令和9年度	907,000	20,000	43,000	970,000	-	421,946	344,554	-	1,736,500		
令和5年度～ 令和9年度	3,998,600	128,000	215,000	4,341,600	-	2,109,033	1,728,202	-	8,178,835		
合計	23,602,163	1,984,569	1,492,914	25,586,732	468,678	9,237,971	6,889,814	-	43,207,431		
合計	29,637,306	2,019,569	1,660,654	29,318,929	468,678	11,147,654	8,321,567	-	48,788,150		

記載要領

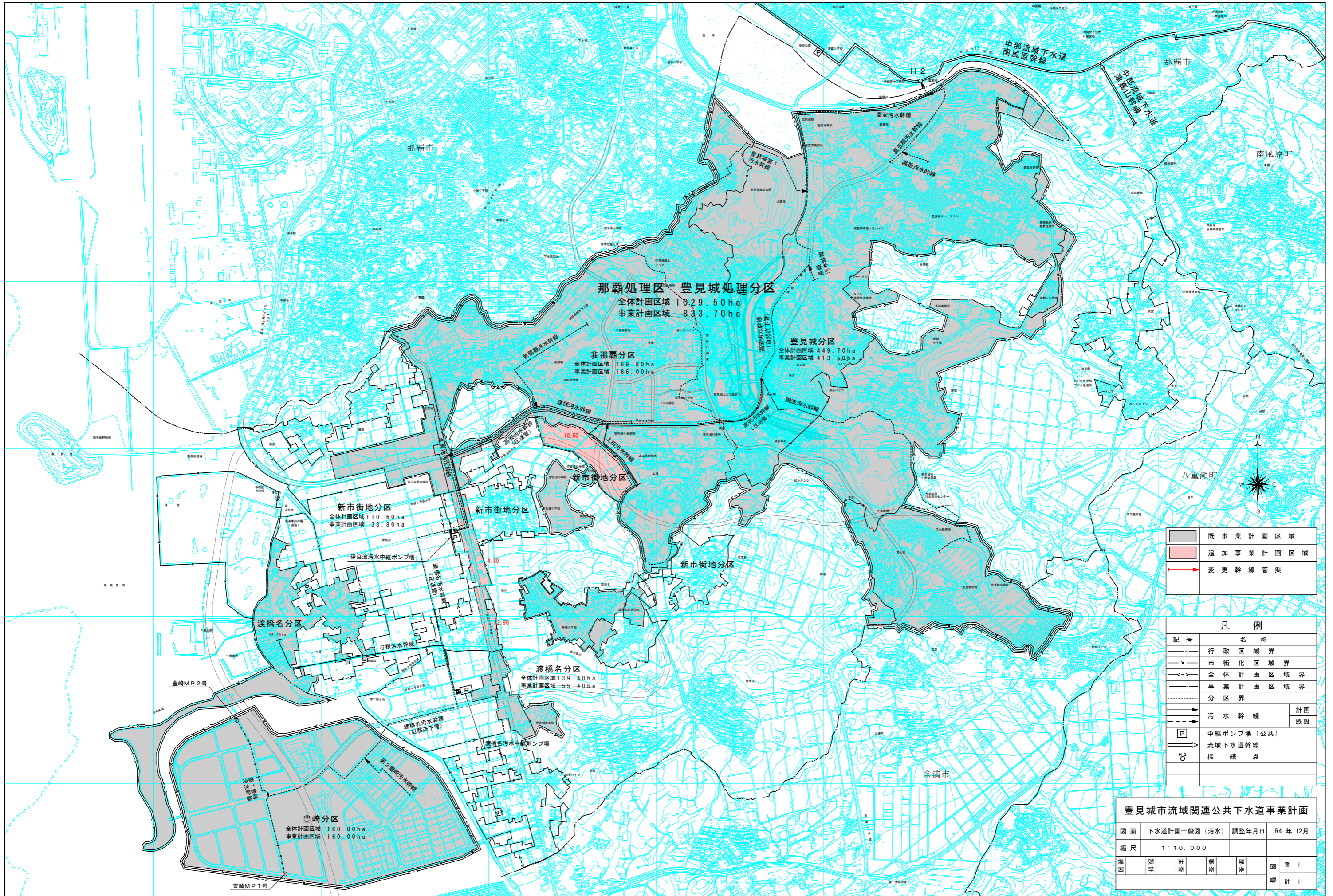
1. 流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設費負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

(様式3) 一2 財政計画書

(単位:千円)

年次	口. 財 源 の 部				建設改良費				維持管理費及び起債元利償還費				合 計	
	国 費	起 債	他 会 計 繰 入 金		計	下 水 道 使 用 料	他 会 計 繰 入 金	そ の 他	計	下 水 道 使 用 料	他 会 計 繰 入 金	そ の 他		計
			他 会 計 繰 入 金	そ の 他										
昭和56年度～ 令和4年度	15,365,859 14,135,859	7,466,447 6,545,247	4,247,340 4,296,223	— —	27,079,646 24,977,329	6,786,300 6,694,545	8,767,470 8,363,516	573,925 573,925	16,127,695 15,631,986	6,786,300 6,694,545	8,767,470 8,363,516	573,925 573,925	43,207,341 40,609,315	
令和5年度	— 457,300	— 412,700	— 0	— —	— 870,000	— 318,429	— 453,625	— 0	— 772,054	— 318,429	— 453,625	— 0	— 1,642,054	
令和6年度	— 503,300	— 458,300	— 0	— —	— 961,600	— 330,876	— 446,460	— 0	— 777,336	— 330,876	— 446,460	— 0	— 1,738,936	
令和7年度	— 514,800	— 455,200	— 0	— —	— 970,000	— 343,715	— 422,785	— 0	— 766,500	— 343,715	— 422,785	— 0	— 1,736,500	
令和8年度	— 507,300	— 441,700	— 0	— —	— 949,000	— 357,532	— 411,778	— 0	— 769,310	— 357,532	— 411,778	— 0	— 1,718,310	
令和9年度	— 320,300	— 270,700	— 0	— —	— 591,000	— 371,496	— 380,539	— 0	— 752,035	— 371,496	— 380,539	— 0	— 1,343,035	
令和5年度～ 令和9年度	— 2,303,000	— 2,038,600	— 0	— —	— 4,341,600	— 1,722,048	— 2,115,187	— 0	— 3,837,235	— 1,722,048	— 2,115,187	— 0	— 8,178,835	
合計	15,365,859 16,438,859	7,466,447 8,583,847	4,247,340 4,296,223	— —	27,079,646 29,318,929	6,786,300 8,416,593	8,767,470 10,478,703	573,925 573,925	16,127,695 19,469,221	6,786,300 8,416,593	8,767,470 10,478,703	573,925 573,925	43,207,341 48,788,150	
接続率：88%（令和5年度：初年度） → 94%（令和9年度：最終年度） 講じる対策 ・ 下水道への接続促進活動及び助成金制度のPR等を強化し接続率の向上を図る。 ・ 令和5年度より未接続世帯に対して、全戸訪問による接続勧奨を実施する。 有収率：100%（令和5年度：初年度） → 100%を維持（令和9年度：最終年度） 講じる対策 ・ 点検、調査によりマンホール蓋からの雨水浸入、誤接続などを把握し、雨水浸入水対策を実施する。 ・ 令和5年度より調査対象範囲を絞り込み、TVカメラ調査等により浸入水状況を把握し、適切な対策を講じる。 その他の講じる対策 ・ 令和5年度より、経営状況を踏まえた使用料のあり方について検討する。														
下水道使用料 ※関連事項														
記載要領														
1. 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は、建設費負担金を含んで記載する。 2. 「維持管理費及び起債元利償還費」の「その他」の欄には、都道府県補助金、積立金取り崩し額等を記載する。なお、流域下水道は管理運営負担金を含んで記載する。 3. 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保健・人口問題研究所による人口・世帯数の見直し、企業立地の見直し等を踏まえた上で算定すること。 4. 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン(平成26年6月、国土交通省・(公社)日本下水道協会)」等も必要に応じて参照すること。 5. 「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」の欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組みについて記載する。														

豊見城市 下水道計画一般図 (污水)



那覇処理区 豊見城処理分區
 全体計画区域 10,29.50ha
 事業計画区域 833.70ha

我那覇分區
 全体計画区域 169.80ha
 事業計画区域 166.00ha

豊見城分區
 全体計画区域 449.70ha
 事業計画区域 413.50ha

新市街地分區
 全体計画区域 110.60ha
 事業計画区域 38.80ha

新市街地分區
 全体計画区域 139.40ha
 事業計画区域 55.40ha

渡橋名分區
 全体計画区域 160.00ha
 事業計画区域 160.00ha

渡橋名分區
 全体計画区域 139.40ha
 事業計画区域 55.40ha

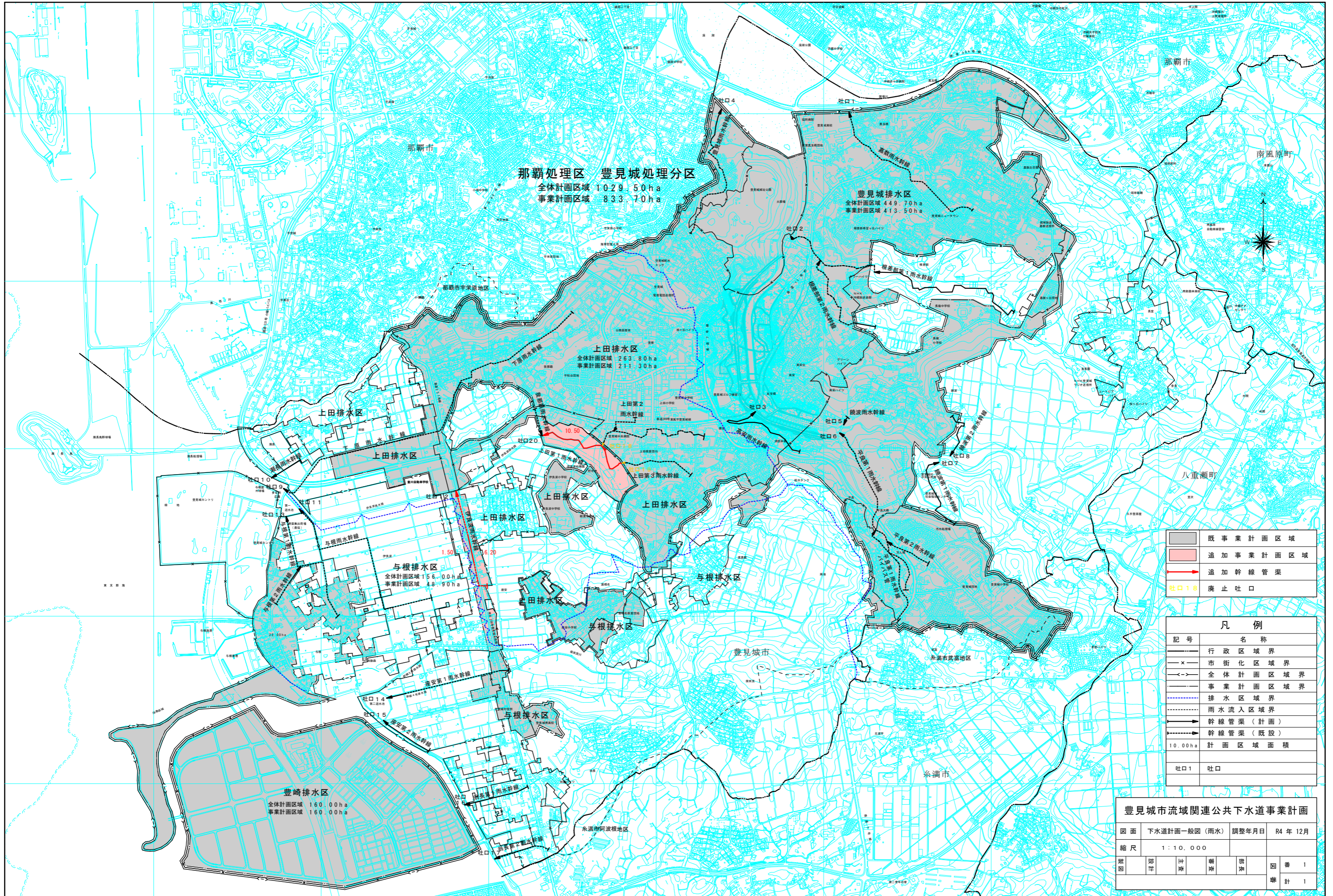
豊崎分區
 全体計画区域 160.00ha
 事業計画区域 160.00ha

	既事業計画区域
	追加事業計画区域
	変更幹線管渠

凡例	
記号	名称
	行政区境界
	市街化区域界
	全体計画区域界
	事業計画区域界
	分區界
	污水幹線
	流域下水道幹線
	中継ポンプ場 (公共)
	接続点

豊見城市流域関連公共下水道事業計画			
図面	下水道計画一般図 (污水)	調整年月日	R4年12月
縮尺	1:10,000		
製図	図字	冊数	冊数
			図番 1
			冊計 1

豊見城市 下水道計画一般図（雨水）



那覇処理区 豊見城処理分区
 全体計画区域 1029.50ha
 事業計画区域 833.70ha

豊見城排水区
 全体計画区域 449.70ha
 事業計画区域 413.50ha

上田排水区
 全体計画区域 263.80ha
 事業計画区域 211.30ha

与根排水区
 全体計画区域 156.00ha
 事業計画区域 40.90ha

豊崎排水区
 全体計画区域 160.00ha
 事業計画区域 160.00ha

	既事業計画区域
	追加事業計画区域
	追加幹線管渠
	廃止吐口

凡例	
記号	名称
	行政区域界
	市街化区域界
	全体計画区域界
	事業計画区域界
	排水区域界
	雨水流入区域界
	幹線管渠（計画）
	幹線管渠（既設）
	計画区域面積
	吐口

豊見城市流域関連公共下水道事業計画			
図面	下水道計画一般図（雨水）	調整年月日	R4年12月
縮尺	1:10,000		
整理	図	冊	番
	1	1	1
冊	計		
	1		